

こおりやま 市議会だより

第212号 - 令和7年3月定例会 -

祝 郡山市歴史情報博物館 開館



過去と未来をつなぎ、郷土への誇りを育む
(歴史情報博物館オープン)



【2、3頁 特集】

ごみの減量化に向けて 市長に提言書を提出しました！

【19頁】

議会モニターアンケート結果を公表

この議会だよりは、リサイクル可能です。読み終えた後は、資源回収などへ、リサイクルしてください。

主な掲載内容

特集	2、3頁
3月定例会の概要	4頁
市政一般質問	6頁
令和7年度当初予算	17頁
議員研修会	18頁
議会モニター	19頁
6月定例会開催予定	20頁

特集

ごみの減量化に向けて市長に提言書を提出しました！

■特別委員会の提言

委員会で取りまとめた「ごみの減量化に向けた提言書」は、3月定例会初日の本会議において全会一致で可決され、同日、市長へ提出しました。

◇提言項目

- ・さらなる減量化への取組み
- ・意識啓発等の持続的かつ効果的な実施
- ・人口減少や高齢化社会などに対応した収集方式の検討
- ・各種団体等との連携・協力

※提言書の概要は3頁を御覧ください。

提言書
全文



特別委員会
ウェブページ

市長に提言書を提出した佐藤議長ら

■ごみの減量化対策特別委員会活動報告

令和6年12月25日の委員会では、前回までの協議等をもとに市へ提出する提言書(案)について協議し、令和7年1月24日の委員会で、提言書(案)を決定しました。
本特別委員会は令和5年12月の設置から全17回開催し、付託案件が結審したため、令和7年2月19日に廃止されました。

特別委員会を終えて

この度の委員会は、私たち市議会や行政、そして市民の皆様新たな自覚を促す重要な機会となりました。

ごみ減量のためには、市民・事業者・行政など市全体での対策が不可欠です。市議会としても、この提言を契機として、さらなる減量化に向けて取り組んでまいりますので、御協力をお願いいたします。

委員長 久野 三男



提言書(案)について協議する委員



ごみの減量化対策特別委員会委員

ごみの減量化に向けた提言書（概要）

1 さらなる減量化への取り組み

- (1) 分別しやすい仕組みづくりに取り組むこと。
- (2) 紙類は、雑紙専用収集袋の配布等により分別収集の推進を図ること。
- (3) 草木の乾燥化等による排出のほか、^{せんていし}剪定枝は破砕機の貸出等による再資源化に繋げること。
- (4) 分別ルール^{ルールの周知・説明}は、地域に出向き実施する等、積極的に取り組むこと。
- (5) 指導員によるサポート制度等を創設し、市民や市民活動団体、事業者等と協働で分別ルールの徹底を図ること。
- (6) フードドライブの事業拡大及び飲食店へのドギーバッグやパック容器の配布等、食品ロス削減に積極的に取り組むこと。
- (7) 衣類や食器類などのリユースイベントを定期的を開催すること。
- (8) 剪定枝や生ごみ、クリーンセンターの焼却灰など再資源化に取り組むこと。
- (9) 各種施策等の実施結果において、状況の好転が見られない場合は、生活系ごみの処分有料化を検討すること。

2 意識啓発等の持続的かつ効果的な実施

- (1) 現状・目標値等を見える化し、減量化への明確な意識づけを図ること。
- (2) チラシやアプリなど各種媒体を活用し、啓発回数を増やすとともに、地域や対象に応じて啓発方法等を工夫すること。
- (3) 市作成の再資源化可能な全ての印刷物に、「リサイクル可能であり、必ず資源回収に出すこと」を大きく目立つように表示すること。
- (4) 啓発・教育に係るセミナー等の内容充実及び実施回数の増加を図ること。
- (5) ごみ減量協力企業等の認定・表彰制度を創設すること。
- (6) ごみの排出抑制及び環境への配慮の意識づけのため、マイボトル・マイバッグ利用の継続的な啓発を実施すること。
- (7) ルール違反への厳格化等、条例の見直しや制定を検討すること。

3 人口減少や高齢化社会などに対応した収集方式の検討

- (1) 集積所の状況把握、集積所の移動や確保等に、積極的に助言や協力等を行うこと。
- (2) 集積所の管理用品にかかる費用補助等、環境維持活動への支援を行うこと。
- (3) 市街化区域において、違反抑止や減量化のため、戸別収集方式について調査、検討すること。

4 各種団体等との連携・協力

- (1) 啓発イベントやリユースイベント等をより効果的に実施するため、各種市内開催イベントと連携すること。
- (2) 県や近隣自治体、民間事業者、市民活動団体等との連携可能性についても模索しながら、資源循環システムの構築を目指すこと。

令和7年3月定例会の概要

道路における安全対策の推進に要する経費を含む

令和7年度一般会計予算等議案74件、議案3件を可決

3月定例会を2月19日から3月7日までの17日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告に続き、ごみの減量化対策特別委員会から委員長報告がなされ、付託案件について、全会一致で可決し、その後、市長が提出議案の提案理由を述べました。

2月26日から3月3日まで、20人の議員が市政一般質問を行いました。

4日と5日は、各常任委員会で、付託された議案69件と請願1件を審査しました。

最終日の7日の本会議では、各常任委員会の審査結果の報告を受け、賛否が分かれた議案に、1人の議員から反対の討論があり、採決の結果、郡山市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例

の一部を改正する条例など議案66件と請願1件を全会一致で可決・承認・採択したほか、令和7年度一般会計予算等議案3件を賛成多数で可決しました。

また、追加提出された郡山市固定資産評価審査委員会委員など人事案件5件を全会一致で同意しました。

さらに、福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書など議案3件を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

その後、任期満了に伴い退任する品川萬里市長から挨拶があり、これまでを振り返り、議員等への感謝を述べ、続いて、市議会を代表し、佐藤政喜議長から市長へ、市政への尽力に対し、感謝と敬意を示し、閉会しました。

常任委員会の審査状況

総務財政

問 移住・定住促進事業に関し、都内に本部を持つ東京圏

内のキャンパスに通う大学生等が市内に就職した場合に、引越等し等に要した費用を助成するとのことであるが、要件は。

答 原則として、東京圏内から市内に住民票を異動し、卒業日から1年以内に就職することが要件となる。

環境経済

問 リチウムイオン電池によるレアメタルの再資源化は、

クリーンセンターで行うことができるのか。

答 クリーンセンターでは、リチウムイオン電池の集約を行い、レアメタルの再資源化については、再資源化が可能な専門業者において処理することとなる。

建設水道

問 道路陥没防止のための調査の内容は。

答 路面下空洞調査車により、舗装下の空洞箇所を、22路線、延長172kmを対象として、緊急輸送路や主要幹線のほか、大口径の下水道管が入っている道路を調査している。

なお、令和2年度から令和6年度までで、128kmが完了予定となっている。

文教福祉

問 1か月児健康診査への助成を新たに実施することとした理由と健診項目は。

答 妊娠期からの切れ目ない支援の充実のため実施するものであり、先天性の疾病等の早期発見・対応ができるようになると考えている。

なお、健診項目は、身体発育状況や栄養状態、子育ての状況等を予定している。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

議案等に対する
各議員の賛否

請願文書

件 名		議決結果	会派の賛否（議長を除く。）									
			志 翔 会	新 政 会	郡 山 市 議 会 公 明 党	緑 風 会	自 由 民 主 党 郡 山 市 議 団	日 本 共 産 党 郡 山 市 議 団	立 憲 民 主 党 郡 山	無 所 属 の 会	立 憲 民 主 党	れ い わ 虹 の 会
			10人	9人	4人	4人	3人	2人	2人	1人	1人	1人
当初予算	令和7年度一般会計	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
条例制定	郡山市乳児等通園支援事業に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	郡山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

会派名は3月7日現在のものです。

全会一致で可決した議案等

令和6年度	補正予算	一般会計（第9、10号）	
	特別会計	国民健康保険（第5号）、後期高齢者医療（第5号）、県中都市計画土地地区画整理事業（富田第二（第1号）、伊賀河原（第3号）、徳定（第3号）、大町（第3号））、工業団地開発事業（第1号）、企業会計（水道事業（第5号）、下水道事業（第4号））	
令和7年度	当初予算	国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、公共用地先行取得事業、県中都市計画土地地区画整理事業（荒井北井、富田第二、伊賀河原、徳定、大町）、駐車場事業、県中都市計画郡山駅西口市街地再開発事業、総合地方卸売市場、工業団地開発事業、熱海温泉事業、母子父子寡婦福祉資金貸付金、財産区（多田野、河内、月形、舟津、舘、浜路、横沢、中野、後田）、企業会計（水道事業、簡易水道事業、下水道事業、農業集落排水事業）	
	補正	一般会計（第1号）	
条例改正		郡山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び郡山市議会の個人情報の保護に関する条例	
		郡山市職員の給与に関する条例等	
		郡山市職員の育児休業等に関する条例及び郡山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例	
		郡山市職員の給与に関する条例	
		郡山市職員の退職手当に関する条例	
		郡山市東山霊園管理基金条例等	
		郡山市営住宅条例	
		郡山市手数料条例	
		郡山市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例等	
条例改正		郡山市保健所設置条例	
		郡山市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例	
		郡山市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	
		郡山市上下水道事業経営審議会条例	
		郡山市いじめ問題対策連絡協議会等条例	
	条例制定	郡山市農林水産業振興基金条例	
		建設業法施行令の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例	
	その他		工事請負契約の変更（ため池防災・減災事業（新池）対策工事、河川改修工事（準用河川愛宕川）、郡山西部第一工業団地（第2期工区）造成工事）
			業務委託契約の変更（東部幹線こ線橋新設工事委託）
			財産の取得（教師用指導書）
		市道路線の認定	
		字の区域の変更	
		専決処分の承認を求めること	
議案		包括外部監査契約	
		郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任	
		郡山市財産区管理委員の選任（月形、横沢、浜路）	
		人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	
		郡山市議会会議規則の一部を改正する規則	
		郡山市議会委員会条例の一部を改正する条例	
請願		福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	
意見書		福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	

令和7年3月定例会

市政一般質問

● 今回の質問者数 20名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。
また、掲載項目は質問者間で重複しないよう調整しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 配信動画

各記事のQRコードから、配信動画（郡山市議会公式YouTubeチャンネル）が御覧いただけます。

※第211号以前のQRコードからはアクセスできませんので、御了承願います。

● 会議録

市議会ウェブページや次の施設で御覧いただけます。

・ 市政情報センター（市役所本庁舎1階）
・ 中央図書館・希望ヶ丘図書館
・ 安積図書館・富久山図書館

なお、令和7年3月定例会の会議録が御覧いただけるのは、6月中旬になります。



会議録検索システム

一般質問



志翔会

大河原 おおかわら

裕勝 ひろかつ
議員喜久田駅東側への改札口
設置について

問

喜久田駅東側に位置する金久保地区は、保育所や幼稚園、小中学校をはじめ行政センターなど多くの施設があり、住宅分譲計画も始まったことから、当駅利用者の利便性向上と送迎車の東西分散のため、駅東側へ改札口を設置すべきと考えるが見解は。

答

これまでもJR東日本に対し、喜久田駅東西のアクセス向上等について、2014年から継続的に要望してきた。今後、当駅東側の隣接地で進める宅地分譲の状況を踏まえ、引き続き、駅の利用状況を調査するとともに、地域の方々の連携、協力をいただきながら、JR東日本へ積極的に要望していく。

熱海町の観光振興について

問

県内有数の観光客入込数を誇る磐梯熱海温泉を核に、インバウンドの観光客が見込める観光スポットの魅力を高める整備を進めるとともに、熱海町の様々なコンテンツの相乗効果が得られるような施策を進め、熱海町全体の観光振興にこれまで以上に注力すべきと考えるが見解は。

答

熱海町は、本市及びおりやま広域圏の観光起点であり、少子高齢化の中、観光客を増やしていくために、観光協会等と連携し、DXの活用等により、若者やインバウンドなど、幅広く来訪してもらえるように取り組んでいく。



熱海町の銚子ヶ滝

一般質問



日本共産党郡山市議員

えんどう たかし
遠藤 隆 議員



高齢者の権利擁護の支援について

問 高齢者の多くは認知機能も衰え、法律的な手続きなども苦手として行えないというのが現実であり、市はどのような支援をしているのか。

答 市成年後見支援センターを設置し、同センターを中核機関とした地域連携ネットワークを構築するなど、支援体制の強化を図っている。

同センターでは、判断能力が低下した人の財産管理支援等のほか、本年3月に市民セミナーの開催を予定している。

また、市オリジナルエンディングノート「わたしの未来ノート」には、財産管理の手続き等の情報を掲載するなど、情報発信を積極的に行っている。



子ども食堂の支援について

問 子ども食堂はボランティア団体等により運営され、物価高等で厳しい経営を強いられていると考えるが、どのような支援をしているのか。

答 市子ども食堂ネットワーク登録団体に対し、食材等の購入に必要な経費の支援として、地域や企業からの寄附を原資とした商品券の譲与をはじめ、フードパントリー※や

体験活動実施などの経費に対する補助の令和6年度予算を増額し、支援の拡充を図った。

さらに、支援企業の獲得や食材提供のマッチングなどにつながる子ども食堂の周知啓発など、持続的かつ安定的に運営を続けられるよう支援の輪の拡大にも努めている。

※フードパントリー…食品の無償配布のこと。

一般質問



新政会 富樫 とがし
賢太郎 議員

けんたろう



情報共有システム(ASP)※の導入実績等について

問 建設業における働き方改革への対応として2024年4月からASPが導入されているが、書類提出等の実績や効果など、取組みの現状は。

答 2024年度は、建設業関係団体への周知とともに、152名の市技術職員を対象に計5回の研修会を開催し、1月末時点で19件の工事、3件の委託契約でASPを活用した。

導入効果としては、契約1件あたりの書類等のやりとりを平均15回程度実施しており、事業所から市役所までの往復移動時間を60分と仮定した場合、受注者においては、311時間の業務削減が図られたものと試算している。

※ASP…公共事業において、情報通信技術を活用し、受発注者間など異なる組織間で情報を交換・共有することによって業務効率化を実現するシステムのこと。

改修後の開成山地区体育施設の活用について

問 開成山地区体育施設はPFI事業により改修整備を行い、4月12日にグランドオープンを迎えるが、改修後はどのように活用していくのか。

答 これらの施設は、利便が良い市街地に立地し、集客力に優れているほか、トップスポーツ公式戦の開催に十分な設備や規模を備えていることから、積極的な大会等の誘致により、ハイレベルなスポーツ等に市民が身近に触れることができる場を提供していく。

また、充実した施設等を市民が利用することによる競技力の向上、スポーツ文化の醸成と活性化に努めていく。



グランドオープンした開成山地区体育施設

一般質問



日本共産党郡山市議団

おかだ てつお
岡田 哲夫 議員生活保護制度の扶助基準で
ある級地指定について

問 低所得者層の生活が限界に達する中、本市は下から2番目の3級地・1に指定されており、早急に改善が必要であるが見解は。

答 級地制度は、生活保護法第8条第2項に基づき、地域の生活水準の差を生活保護基準に反映させる制度で6区分に設定され、県内では福島市が2級地・1、本市など9市が3級地・1に指定されている。本市は、令和3年から毎年、文書で厚生労働省社会・援護局長に対し、級地区分等を福島市と同等とする見直しの要望を行っており、令和4年と令和6年には、市長が直接要望を行っているほか、総務省にも、県を通じて見直しについて意見を提出している。

デジタル教育の今後の
あり方について

問 当該教育拡充の方向性は問題があると考えられ、市教育委員会として調査・研究の必要性があると思うが見解は。

答 本市では、2024年度全国学力・学習状況調査でICTの活用について「画像や動画、音声等を活用すること」で学習内容がよく分かる」と回答した児童生徒は小学6年生で92.4%、中学3年生で92.1%である等、個別最適な学びと協働的な学びの充実に有効と認識しており、今後も紙とデジタルのそれぞれの良さについて調査・研究に努め、デジタル教材の効果的な活用に向け教員研修の充実を図る。



一般質問



緑風会

いけだ 池田

よしひと
義人 議員水難救助等における消防
団員の役割について

問 水害時等のボート活動のため、団員の小型船舶操縦免許の取得・更新に係る経費を負担し、免許取得団員の確保に向けた取組みを継続しているが、今後、免許取得団員に対する役割の想定は。

答 当該免許を保有する団員は、操船の技術や運航時の安全管理に関する知識を活かし、アルミボート等による広範囲の搜索活動や、パトロールへの出動など、消防団によるボート活動の中核的な役割を果たしていると認識しており、今後も免許取得、更新に要する経費を負担し、必要な団員の確保に努めていく。



ボート漕艇訓練

移動式スポットクーラー
導入について

問 体育施設の熱中症対策として、高額な費用を投入しなくても効率的に冷やすことができるスポットクーラーを試験的に導入してはどうか。

答 限りある財源の中で、利用者が安全・安心に活動ができるよう継続的に検討してきたところであり、利用者の声や施設管理者からの意見等を踏まえ、令和7年度当初予算に5つの体育館に6基ずつ、合計で30基の扇風機設置予算を計上した。なお、全ての体育施設において、危険な状況と判断される場合は、利用者においてスポーツ活動の中止・延期等を検討するよう周知しており、今後も利用者の安全に配慮した施設運営に努めていく。

一般質問



志翔会

薄井 すすい

長広 たけひろ
議員

安積永盛駅のバリアフリー化について

問 令和5年9月定例会の市政一般質問で、当該駅は「バリアフリー化が必要な施設」、「バリアフリー化の対応方策」について、ＪＲ東日本と引き続き協議する」など答弁があったが、ＪＲ東日本との協議の状況と市の今後の考えは。

答 今年度は、計６回協議し、駅構内・線橋の対応のほか、駅舎や市管理の東西自由通路等を含めた効率的・効果的なバリアフリー化のあり方について意見交換を行ってきた。

ＪＲ東日本から、東西自由通路のバリアフリー化と合わせ、駅舎等の一体的な整備検討と一緒に進める旨の方向性が示されたところであり、今後、早期着手に向け積極的に協議を進めていく。

教員のＩＣＴ指導力向上研修について

問 学びの可能性を広げるタブレット端末をより効果的に活用していくための研修が必要と考えるが、ＩＣＴ指導力向上への具体的な研修内容は。

答 市教育委員会では２０２０年度からＩＣＴの活用へ向けて研修機会の充実を図っており、２０２４年度のＩＣＴ指導力向上研修は、情報モラル教育やプログラミング教育等をテーマにした教育におけるＤＸ研修を４回開催した。

また、ＩＣＴスキルに自信がない教員を対象としたＩＣＴ活用授業づくり学習会や、新採用教員や講師に対してもＩＣＴ研修を実施した。



タブレットを使った授業

一般質問



郡山市議会公明党

但野 光夫 ただの みつお
議員

イエローチョーク作戦の導入について

問 放置された犬のふんを黄色のチョークで囲み、発見日時を書くことで、困っている住民がいることを飼い主に伝え、マナー向上を促す取組みであるイエローチョーク作戦を、本市でも速やかに実施すべきと考えるが見解は。

答 市に対して直接寄せられる苦情は少ないものの、地域の実状について把握するため、今後は町内会等に意見を聴くとともに、事業実施に際しては、道路管理者等、施設管理者との協議・調整も必要となることから、他自治体の事例について研究するなど、その必要性について検討していく。



ふんを発見した日時となくなった日時を書いて

ガイドラインの概要と運用開始時期について

問 倒壊の恐れなどが高い、特定空家に至る前の管理不全空家等の判定について、市街地と郊外で一律に判定することとは難しいため、市独自のガイドラインを作成中とのことだが、概要と運用開始時期は。

答 国は、放置すれば特定空家になる恐れのある空家を新たに管理不全空家と位置づけ、ガイドラインを改定した。

市空家等対策審議会で策定中のガイドラインの概要は、管理不全空家、特定空家の判断をし易くすることを目的に、運用上必要な部分を補完するための具体的例示や判定フローの作成で、国が改定後に示した考え方を基本としている。運用開始時期は、令和７年度を目指している。

一般質問



自由民主党郡山市議員

さんべい むねもり
三瓶 宗盛 議員

公共施設の多機能化・集約化・廃止等について

問 今後これらについて、検討がなされると思うが、地域住民等の理解を得るため、どのような取組みを行うのか。

答 公共施設の多くが地域コミュニティの中心的役割を担っており、地域の考えを聴き検討を進める必要がある。

公共施設等総合管理計画及び個別計画の改訂にあたり、令和7年度に16回の住民説明会を予定しており、地域の理解を得るため、各施設の利用実績や人口変化等の客観的事実を共有したいと考えている。

その上で、次期計画により施設のあり方を大きく変更する場合は、改めて説明会を開催し、利用者、地域住民、関係団体等と丁寧に対話し、地域の実情を考慮し進めていく。

ふくしま逢瀬ワイナリーと地元との関係について

問 4月から運営事業者となる㈱ISホールディングスの企画提案で地域活性化やぶどう生産農家の支援に繋がる提案はどのようなものがあるか。

答 同社では、イベントの充実による交流人口増加、現在の従業員継続雇用に加え、蒸留酒部門新設による雇用創出等、地域活性化策を検討しているとともに、生産農家へは栽培技術研修や長期的な売買契約等、持続可能な農家支援策を検討している。

本市では、地域等の意見を聴き効果的な地域活性化や生産農家支援

の実行に向け、同社との協議を継続していく。



6次産業化の推進により醸造された郡山産ワイン

一般質問

新政会 えんどう
遠藤 利子 議員としこ
利子 議員

受動喫煙防止等の児童生徒に対する指導等について

問 児童生徒が家族と一緒に禁煙について考える機会が必要ではないかと思うが見解は。

答 小中学校等に対して市保健師が薬物乱用防止やがん予防に関する健康教室を実施する際に、たばこの害についても併せて伝えるとともに、たばこの害に関するチラシを小学6年生、中学1年生、高校3年生全員へ配付し、知識の普及に努めており、家族と一緒に考える機会になることを願う。願う各種事業を実施している。

今後も、関係各課と情報共有を行い、より多くの学校でたばこに関する教育に取り組めるよう連携を深めていく。



喫煙防止チラシ

潜在保育士の掘り起こしについて

問 保育士の資格を持っていても働いていない人、いわゆる潜在保育士の掘り起こしについて、どのように取り組んでいるのか。

答 2013年10月に中核市では全国2番目、県内市町村で初めての保育士・保育所支援センターを開設し、復職に向けた研修会や保育所での体験保育を開催するなど、潜在保育士への支援に努めている。加えて人材の確保、定着を図るための取組みとして、給付費における処遇改善加算の支給や家賃補助、潜在保育士の再就職を支援する保育料軽減等を実施しており、令和7年度当初予算においては、約14億9千800万円の事業費を計上している。

一般質問



新政会 福田 ふうだ

文字 あやこ 議員



農業へ参画できる機会の充実について

問 子どもたちや農業に関心がある人が、農業を体験できる機会を充実させるべきだと考えるが、市ではどのように取り組んでいるのか。

答 本市では、児童生徒とその保護者を対象としたふれあい体験農園の開催や、市内の農業者が管理している市民菜園について情報提供するほか、アグリサポーターの育成講座を開催し、今後農家の要望に応じて、農作業を手伝う予定である。

市として、農業への関心を深め、職業として農業を選択してもらえよう、機会の創出に努めていく。



丹精込めて育てた稲を刈る農家

公共施設等総合管理計画における現状について

問 現計画は、長寿命化による更新費用の削減目標値を1年あたり30億円相当、総量削減目標値を公共施設延床面積4.5%相当とし、今後10年間の達成を目指すとしている。

この目標設定から間もなく10年が経つが、目標に対する現状はどうなっているのか。

答 計画策定から2023年度末までの8年間で、長寿命化に係る削減目標との比較は精査中であるが、点検診断等により、庁舎や学校施設など、施設を適切な時期に改修し、更新費用の削減を図ってきた。また施設等の総量削減は、小中学校統合や市営住宅の計画的な廃止など、積極的に行ったが、目標4.5%に対し、1.6%の縮減に留まっている。

一般質問



郡山市議会公明党

小島 おじま 寛子 ひろこ 議員



特別な支援の必要な児童・保護者への支援について

問 特別な配慮等を必要とする児童が増加傾向にあると言われており、現場は対応に苦勞していると思うが、当該児童や保護者へ、どのような対応を検討しているのか。

答 本市では、特別な支援が必要な保育を実施する施設に、人件費を補助して保育士を加配するほか、配慮等を要する児童の保護者や保育士の相談に応じるため臨床心理士の力ウンセリングを実施している。

加えて、公立保育所長経験者が要支援児童受け入れ保育所等を巡回して児童の様子を把握し、施設からの相談に応じて必要な助言を行うほか、施設では、保護者からの発達相談に適宜、専門機関の利用を案内する等支援をしている。

リユーススポット設置事業について

問 環境省の実証事業として実施され、約8割の参加者が満足したという当該事業の継続にあたって、課題の把握や分析をしていると思うが、2025年度の事業展望は。

答 実証事業では公共施設7か所に設置したりユーススポットにおいて、約15トンがリユース、約5.1トンがリサイクルされたほか、利用者アンケートでは、96.6%が事業の継続を希望するという結果を得た。

一方、取扱品目や事業自体の周知不足等の課題もあったため、品目の例示を行うほか、各種媒体による効果的な周知について検討を進めている。



持ち込まれた子供服など

一般質問



立憲民主党郡山

飯塚 裕一 議員
いづか ゆういち

地域活動活性化に向けた支援の充実について

問 敬老会の補助金申請に必要な名簿作成に、市が伴走支援として対象者名簿を町内会等に対し提供することは、地域活性化等、市・地域の相互利益となると思うが見解は。**答** 対象者名簿の提供は、内閣府設置法第64条規定の個人情報保護委員会事務局が公表している個人情報の保護に関する法律についてのQ&Aにおいて、一定条件を付して自治会代表者への名簿提供が可能である旨示されている。

同様の補助制度を設けている自治体の中には厳重な管理や返却等を条件に提供している事例もあるので、他自治体の取組み事例を調査し、関係法令を踏まえ諸条件を整理した上で名簿の提供を行う。

こどもの居場所づくりコーナーダイネーターの配置について

問 子ども食堂の拡大には地域の理解と協力が不可欠であり、当該コーナーダイネーターを配置すべきと考えるが見解は。**答** 令和7年度当初予算計上の子ども食堂体験事業において、持続可能な運営等の相談対応など同様の役割を担う団体を選定し、子ども食堂の開設希望のある団体・個人をマッチングする計画である。

当該コーナーダイネーターの配置は、その役割の重要性を改めて認識した上で、既存ネットワークを活用した取組み等を積み重ねながら、真に有効な居場所づくり構築体制の検証と併せて検討していく。



一般質問



志翔会

伊藤 典夫 議員
いとう のりお

湖南町における高齢者あんしんセンター運営について

問 事業者の受託辞退により、令和7年度以降の対応をどのように考えているか、現在の検討状況及び対応の見込みを伺う。**答** 公募型プロポーザルへの応募事業者がなかったことから、現在、複数の法人と協議を重ね、法人職員の出向等による人的支援も含め、これまでと同水準の業務体制の確保に向け、調整を進めている。

湖南地区の課題は全市的な課題であることを念頭に、引き続き、高齢者の最も身近な相談窓口として、湖南地区住民の健康保持及び生活安定を支援する体制の確保に努めるとともに、センター業務が新たな運営体制へ円滑に引き継がれるよう支援していく。

令和7年度以降の松くい虫対策について

問 湖南町の舟津・舘・横沢地区の猪苗代湖岸における防風林に指定されている松林への、令和7年度以降の松くい虫対策事業について伺う。**答** 令和6年度は、被害木調査を実施し10ha、182本の被害量を確認しており、舟津、舘地区において6ha、74本、被害量の約4割について伐倒・燻蒸による駆除を実施した。

令和7年度は、舘地区の4ha、108本の伐倒・燻蒸、及び横沢地区の7haにおいて、調査、伐倒駆除を実施予定であり、今後も、早期に調査・伐倒・燻蒸処理を行い、被害拡大防止に努める。



松くい虫の被害にあった松

一般質問



れいわ虹の会

ふるやま
古山 唯 議員

(所属会派名は質問日現在。4月1日以降は、れいわ新選組。)

学校における親子向け
リテラシー教育について全ての人に対する物価高騰
対策について**問** SNSやインターネット

上でのトラブル防止対策として、ネットリテラシーを親子がともに考える研修などの機会を増やしてはどうか。

答 2024年度は市立小学

校4校、中学校7校において親子合同での情報モラル教室を実施した。

市教育委員会においては、児童生徒や保護者向けのリーフレットを改訂し、家庭との連携を図った情報モラル教育の充実に取り組んでいる。

また各学校では、様々なリスクに対して自分事として捉えられるような情報モラル教育を実施している。

**問**

令和6年11月に「国民の安心・安全と持続可能な成長に向けた総合経済対策」が閣議決定され、本市では臨時交付金と県の補助金を利用し、住民税非課税世帯に3万6千円の支給などを決定したが、物価高騰の影響は、非課税世帯だけではないことから、全ての世帯へ支援すべきでは。

答

当該総合経済対策において、物価高騰の影響をより強く受けている住民税非課税世帯を対象に、迅速に措置を講じることとされていることから、2024年度内の支給に向け準備しており、対象世帯以外への支援は、国が電気・ガス・燃料油等の負担軽減支援を措置していることから、支給対象拡大は考えていない。

一般質問



緑風会

おおき
大木 進 議員

地域共生社会実現に向けた地域福祉の担い手育成について

子どもの「目の健康」について

問

地域福祉の担い手の育成については、第4期郡山市地域福祉計画においても重点施策の一つとして掲げられているが、どのような考え方で進めていくのか。

答

市社会福祉協議会と連携し、担い手として活動している約2千300名の福祉委員の更なる掘り起こしを行うほか、研修等の実施により、担い手の確保と育成に努めている。

また、介護要支援認定者等の支援を行う介護予防・日常生活支援サービス事業については、実施主体を地域住民やボランティア等に拡充し、地域の多様な主体による効果的な支援体制づくりを推進するための予算として、令和7年度は360万円を計上している。

問

2023年度の学校保健統計調査によると、裸眼視力1.0未満の割合は、県内小中高で過去最高を更新し、全国平均を上回っている。

家庭や学校でタブレット端末を利用する上で、子どもの目の健康を守る予防対策は。

答

教職員に対し、タブレット使用場面における児童生徒の健康面への配慮として、明るさ・姿勢・時間に留意して指導するよう周知をしている。

また、文部科学省作成の啓発リーフレット等を配付するとともに、健康面への配慮について、各種懇談会等で保護者へ協力を依頼している。



タブレット端末を活用した授業

一般質問



立憲民主党

吉田 よしだ

公男 きみお
議員市制100周年記念事業大祭
都祭の実態の把握について**問** 主催した指定管理者の音楽関係事業者への料金未払いが地元業者にも影響が及んでいると聞くと、市はその実態を把握しているのか、またそれが事実なら委託者として指導すべきと思うが見解は。**答** 当該事業は、開成山公園等Park・PFI事業の指定管理業務の自主事業としての全額事業者負担の民間事業であるため、委託等契約や支払い状況等詳細を市へ報告する義務はないが、事業者へ確認したところ、音楽関係事業者との精算額確定に時間を要したが、協議が整ったため、近日中に相手方へ支払う予定と聞いている。報告された開成山公園
来園者数の評価について**問** 事業者のビッグデータによる来園者数は過大評価ではないのか、また昨年12月までの利用状況を確認して指定管理事業が持続可能か見解は。**答** 市と事業者で来園者数の推計結果に大きな開きがあったため、令和2年度の公園利用実態調査の実測値と、双方のビッグデータを用いた推計・算出値の整合性を比較・検証した結果、市の推計値が実測値に近かったことから、今後の公表値や事業者評価には市推計値を基に行う。

今後も、外部有識者による市Park・PFIフォローアップ委員会意見等を踏まえ、管理運営の適切なモニタリングや評価等を行い、持続可能な運営が図れるよう努める。

一般質問



志翔会

加藤 かとう

漢太 かんた
議員保育士への今後のカスタハラ
対策について**問** カスタマーハラスメント防止の啓発ポスターを作成し、保護者や市民への周知を図るなど、具体的な対策を検討してはどうかと考えるが見解は。**答** 令和7年度、保育現場でのカスタハラに詳しい専門家を講師に迎え、より実践的な研修を行うとともに、施設長・管理職向けに、職員を守るためのセミナーを実施する。

また、カスタハラ防止に向けては、事業者や現場の保育士の意見を踏まえ、保護者と保育士の良好な関係の構築につながるよう、ポスター等を作成するなど、広く啓発にも取り組んでいく。

カスタマーハラスメント
防止対策ウェブページ農商工融合推進体制への
改編の目的について**問** 市民や事業者にもたらされる具体的なメリットを示しながら、農商工の融合を推進する体制へと改編した目的について伺う。**答** あらゆる産業を融合させた企業グループが日本経済をリードしており、こうした実体経済に合わせるため、本市では、「農・商・工」を融合し、意思決定プロセスの迅速化及び機動性のある組織体制を構築するものである。

農商工の融合による産業の発展は、個人所得や企業収益の向上、雇用の拡大につながり、それが個人消費の増加、企業の設備投資の増加、税収の増加といったサイクルで、本市の経済に好循環をもたらすと確信している。

一般質問



志翔会

塩田 しょうた

義智 よしとも
議員

三穂田公民館の三穂田ふれあいセンターへの移設について

問

当該公民館は開館から36年経過し、駐車場が狭く、近くの集会場等に停め、急カーブに面した箇所を横断している現状にあり、当該ふれあいのセンターは利便性が高いものの、和室等がなく使い勝手が悪いことから、施設複合化の一例として、公民館をふれあいセンターに移設すべきでは。

答

原則、建築年数が古い順に、説明会開催により地域の実情を聴くなど、各施設の方針の決定に取り組む予定であり、当該公民館、ふれあいセンターの複合化についても、公民館全体の優先順位の中で、検討に着手していく。



三穂田公民館

次期市長への政策の引継ぎについて

問

品川市長は、DX推進、Z世代活躍など、先進的な取り組みを推進してきたが、これから取り組みを含め、次期市長への政策の引継ぎについては、どのような考えで行うのか。

答

市最上位計画のまちづくり基本指針は、2025年度が計画期間の最終年度であり、新たな基本指針には、現指針の成果や課題を整理しつつ、市民や事業者からの意見や提案などを反映させながら策定に取り組むこととしている。引継ぎにあたり、現指針の成果や課題はもとより、主要施策であるDX推進等とともに、新たな基本指針の策定や、併せて予定している市人口ビジョンや市総合戦略の改訂など、丁寧に取り組みしていく。

一般質問



立憲民主党郡山

八重樫 たみあき

小代子 さよこ
議員

下水道の50年問題について

問

八潮市の道路陥没事故で、下水道の50年問題が改めてクローズアップされたが、今定例会で提案されている、下水道管（汚水）の長寿命化対策の実施とはどのようなものか。

答

本市で50年の耐用年数を超過した管は約7.1%となっているが、全ての管路を対象に点検頻度の区分けを行い、マンホール上部から管口カメラを下ろして本管内部を点検し、損傷等が確認された場合は、自走式テレビカメラ車による詳細調査を行い、程度に応じた修繕や管更生、改築を実施するものである。

令和7年度は、点検、調査、改築・修繕のほか、AIによる汚水コンクリート管の劣化予測診断を予定している。

災害対策における備蓄品について

問

市防災備蓄計画には、備蓄品目が規定されており、口腔ケア用品や発電機もあげられているが、これらの備蓄の状況と今後の備蓄方針は。

答

当該計画では、公的備蓄として整備する品目と目標数量を定め、2028年度までに達成することとしている。

歯磨きシートは4万2千80個を目標に2026年度までの整備を、51台を目標とする発電機は、残り11台を2028年度までに整備をする予定であるほか、災害時には、物資供給等に係る協定に基づく民間事業者20社からの調達など、様々な手段により必要数を確保していく。



市防災備蓄計画

一般質問



無所属の会

やない
筋内よしひこ
好彦 議員

犯罪被害者等支援条例について

問 本市においても当該条例制定済みの県内25市町村と同様に、早急に制定すべきと思うが見解は。

答 県では、福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例、福島県犯罪被害者等支援条例により、支援の推進や市町村の役割等を定めている。本市では、市犯罪被害者等施策庁内連絡会議を設置し、第三次男女共同参画プランに施策として位置づけているほか、県及び県警とも情報交換など連携し、男女共同参画課を総合相談窓口とし、ワンストップで見舞金等の37種類の支援を受けられる体制としているため、現時点では必ずしも条例の制定を必要とするものではないと考えている。

市孤独・孤立対策地域協議会について

問 設置予定の当該協議会の今後のスケジュール及び概要等について伺う。

答 孤独・孤立対策推進法第15条に基づく地域協議会は、個々の当事者等への具体的な支援内容に関係機関等の間で協議する場であることから、重層的支援体制整備事業における多機関協働のための支援会議に地域協議会の機能を持たせたいと考えている。

設置の時期は、本年1月30日に福島県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームが設立され、県全体の体制や今後の進め方が示されたことから、令和6年度内に設置したいと考えている。



請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。	●陳情書の写しを各議員に配付します。
提出方法	1. 文書による提出 2. オンラインによる提出（郡山市オンライン申請サービス、電子メール） ※4月からオンラインでの受付を開始しました。	

請願書

年 月 日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名)※
(紹介議員)

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

陳情書

年 月 日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名)※

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

紹介議員は
不要

※文書による提出の場合、氏名は、署名又は記名押印が必要です。

令和7年度当初予算の主な内容



		対前年度比
一般会計	1,406 億 5,000 万円	0.6%減
特別会計	1,032 億 1,984 万4千円	1.3%減
合 計	2,438 億 6,984 万4千円	0.9%減



詳細や掲載できなかった事業は、上記QRコードから、御覧いただけます。

※令和7年度当初予算は、4月に市長選挙が執行されるため、原則、義務的経費、継続的事業および市民生活に密着した事業を中心とした「骨格予算」です。

◆スポーツを通じた地域活性化に向けて 6,756万円

本市を拠点とするトップスポーツチーム等が有する資源・知見を活かしスポーツ環境を充実させ、市民の健康増進や多様なスポーツへの参画を促進し、地域の活性化を図る。
(トップスポーツチームとの連携によるスポーツの推進、スポーツ環境の整備)

◆下水道管(汚水)の長寿命化対策の実施 3億4,139万円

災害に強いライフラインを構築するため、平成22年度に策定した「郡山市下水道長寿命化計画」に基づき、老朽管の効率的な更新・修繕を進める。
(令和7年度計画 点検:大槻町 外、調査:熱海町 外、改築・修繕:横塚一丁目 外)

◆KORIYAMA発スタートアップをサポート 2,140万円

スタートアップや新たな事業創出・販路開拓を目指す事業者を後押しする。
(創業・事業承継支援情報発信事業、専門家・メンター・クリエイター派遣事業、社会起業家加速化支援プログラム、スタートアップ支援補助金)

◆^{ほうしん}帯状疱疹ワクチンの定期接種開始 1億6,733万円

現在、高齢者を対象に実施している「定期予防接種(インフルエンザ、新型コロナウイルス、肺炎球菌)」に、新たに「帯状疱疹ワクチン接種」を追加する。
(詳細は、広報こおりやまやFacebook・LINE等で周知)

令和7年第1回臨時会

エネルギーなどの物価高騰が続く中、国の交付金等を活用し、生活困窮世帯、民間児童施設等事業者への支援を速やかに実施するための予算を審議し、物価高騰に対応した生活困窮世帯への緊急支援に要する経費15億1千580万円を含む一般会計補正予算案を全会一致で可決しました。

■開催日

1月20日

■補正予算の主な内容

- ・物価高騰の影響を受ける低所得世帯への支援
- ・民間児童施設等への光熱費の支援

臨時会とは？

定例会以外に、特に緊急な事案があるときに開催される会議を臨時会といいます。

郡山市議会議員研修会

■開催日

2月3日

■演題

財政問題の質問のポイント

■講師

地方議員研究会講師

元交野市議会議員

黒瀬 雄大 氏

■目的

郡山市議会基本条例に基づき、積極的な政策立案及び政策提案に関する能力の向上を図る。



講師の黒瀬先生

■講演概要

昨今の地方自治体においては、人口減少や経済活動の停滞による税収減のほか、各種要因により、厳しい財政状況

にあり、歳出削減等を進めて財政健全化を図ることが急務となっています。

こうした中、早期に財政の悪化を察知し、健全化に向けた取組みを推進していくには、市の条例や予算等を定める権限である議決権を有する市議会の、議員一人ひとりの資質の向上が不可欠です。

研修会では、財政資料の読み解き方や活用方法、また、近年危機的な財政に陥った都市の事例等を通して、財政危機を事前に察知するポイントなどについてわかりやすく解説いただき、その後、種々質疑が交わされました。



研修中の様子

市議会ウェブページをみてみませんか



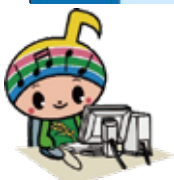
郡山市議会のウェブページでは、本会議や委員会の会議録、市議会中継のほか、定例会日程など様々な情報を発信しております。

詳しくは郡山市ウェブサイト、右上のQRコード、または、「郡山市議会」で検索してください。

なお、令和7年度から、YouTubeにより本会議の様子を配信しております。画質は、これまでのアナログ映像からデジタル映像となり、より見やすくなっておりますので、ぜひ御覧ください。



令和6年4月～令和7年3月
議会中継アクセス件数
生中継・・・14,384件
録画中継・・・5,356件



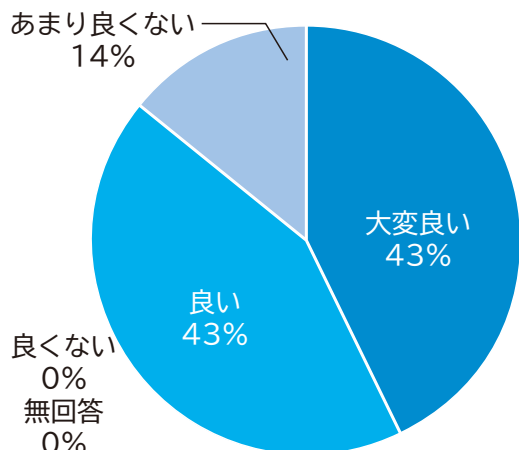
議会モニターアンケート結果



郡山市議会だより第210号のアンケート結果を公表しました

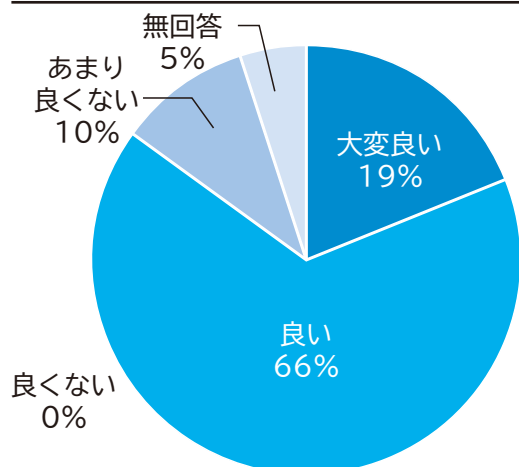
令和3年度から始まり3回目となる議会モニターアンケートを実施し、郡山市議会だより第210号（令和6年11月1日発行）について回答いただきました。今後、より良い紙面となるよう広聴広報委員会で協議してまいります。

◇特集記事【郡山市議会100年史】の感想は？



- ・郡山市議会100年史は視覚的に楽しいレイアウトになっていてよかった。
- ・議員がポーズをとりながら登場しており、動きが出てユニークだなと感じた。
- ・100年史と議員と音符デザインが調和して楽しく読めた。
- ・企画は良いが細かくて見づらいので、もう少しぱらっとした方が良いと思う。
- ・議員の写真の使い方にもっと工夫が必要。 ……など

◇一般質問記事の感想は？



- ・QRコードを用いることで、紙面以外の細かい情報がわかる誘導ができている点が良かったと思う。
- ・議員の顔写真があることで、名前だけの記載よりも見やすいと感じた。
- ・各議員の質疑の内容と市側の答弁が映像で見ることができて良い。
- ・質問と回答が要約されていてわかりやすい。
- ・議事録の掲載が遅く、見比べることができない。 ……など

トピックス

◆ 学校の社会見学、自治会の生涯学習行事などで議場を見学しませんか

より身近に議会を感じていただくため、議場見学を受付しています。

広聴広報委員会に所属する議員が、議会の仕組みや議場設備を紹介しますので、お気軽に御相談ください。

※定例会（3月、6月、9月、12月）や臨時会など、受入れができない場合があります。

申込先：郡山市議会事務局 電話024-924-2521



議場見学の様子

6 月 定 例 会 開 催 予 定						
日	月	火	水	木	金	土
					6/13 本会議（開会）	14 休会
15 休会	16 議案調査	17	18 事務整理日 （休会）	19 本会議（代表質問）	20	21 休会
22 休会	23 ※請願締切	24	25	26	27 本会議（市政一般質問） 常任委員会	28 休会
29 休会	30 常任委員会	7/1 事務整理日 （休会）	2 本会議（閉会）			

- ・ 正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
- ・ 本会議の様子をYouTubeの市議会チャンネルから生中継いたします。
- ・ 生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。

市議会中継



議会を傍聴してみませんか



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。本会議、常任委員会の会議開始は通常午前10時です。

市役所駐車場御利用の場合は、傍聴終了後、受付に駐車券を提示ください。傍聴をして2時間を超える場合は、無料になる手続きを案内いたします。

	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30分前から	会議開始 40分前～20分前
定員	74人 ※先着順	各委員会15人 ※定員を超えた場合は抽選



令和6年度
傍聴者数
本会議・・・493人
委員会・・・41人

編集後記

歴史情報博物館が、3月15日に開館しました。市民の皆様が多くの歴史や文化遺産に触れ、地域創造のヒントにしてほしいとの思いから、2014（平成26）年に市歴史資料保存整備検討委員会が設置され、約10年で完成を迎えました。

昨年、本市は市制施行100周年を迎えました。101年目のスタートとして、皆様の愛する郡山の歴史を未来に継承するために、この施設を利用してみませんか。郡山の歴史を知れば知るほど、郡山の魅力をたくさん発見できることでしょう。（福田）

